

花まるたより

2023

4

INDEX

高濱コラム

サマースクールが始まるよ！

職人の無人島レポート

卒業生物語

レインボータイム

花まるリビング

もっと花まる！

読書の世界へようこそ

平沼純の旅する読書

とある花まるの先生が、
わが子の中学受験に直面した

Rin コラム

タカタコ 2023 & 特別版

花まるコラム

花まるファミリー

2023年 4月



30年

舞台上に立つて英語だけで15分ほどの主張を開陳するTED。3月、その一つである「TEDxOgikubo」に登壇しました。誘われたからなのですが、「英語で世界に向けてスピーチできる文化を日本の子どもたちにも」という理念に共感したことが決め手でした。人前でしゃべるときに照れてしまう文化性や、会話としての英語力の低さは、海外で活躍する方々が異口同音に指摘する我々の長年の弱点ですが、まあそれは、英語の学校に行くとか、留学するとか、商社マンになって赴任するとか、「必然」に追いつまされさえすれば基本的には克服できる。ただ、「教養や哲学など中身のある会話」は、また一段階レベルを上げる経験が必要。そしてそれを克服する具体策が、まさにこの形（自分の考えを日本語で確かに中身がある形で文章にし、英訳し、暗唱し、発表すること）だと確信していたからです。

そしてそれは、実は大人たちにこそ最適な語学学習法でもあると信じていたので、良い機会だと思い自分自身に強いることにしました。とまあ偉そうに書きましたが、現実には厳しく、弾き飛ばされました。人前で話すのは誰よりも慣れているし、予備校で英語を教えていたこともあるし、20代半

ばのバックパッカー時代には「キミは本当に日本人か（ネイティブではないのか）」と言われるくらいに話せていたので、何とかなるだろうと思っていました。しかし、まず外国語の能力というのは使わないとこなにも衰えるのかと、忘却ぶりに愕然としました。そして「暗記」の壁が立ちました。自分でもこんなに入らないのかと失望するくらい覚えられません。最後は善意の仲間のカンペに頼ってチラ見しながらの発表となりました。対照的に、一緒に出演していた帰国子女やナショナルスクールの中学生の発音や発表ぶりは実に見事でした。

ただそれでも、ない時間を削って毎日15分でも音読を繰り返した一か月の成果で、夜中に聞き流しているCNNのニュースが、明らかに聞き取りやすくなっているのを感じました。幸いにも日本語→英語の翻訳は、どんなに長くてもChatGPTで瞬間に精緻にやってくれる時代。自分を追い込む意義を十分に感じたので、何らかの形で、この修行は続けたいと思います。

さて、花まる学習会は、この2月で創立30周年を迎えました。過ぎ去れば一瞬のようにも思えるし、2冊や3冊では書ききれないくらい、輝く思い出にあふれる30年間でもありました。いやなことはすぐに綺麗さっぱり忘れてしまう性格なので、何だか良いことしか起きなかったような記憶に修正されているのは、我ながらおめでたいところです。

ちょうど、この2月に嬉しい話がありました。ある新入会の子のお母さんが、入会理由を聞かれたとき、こう答えられたそうです。「近所のお母さんにすすめられました。その方はずいぶん前に娘さんを花まるに入れたが、おかげで、中・高と勉強では困らなかったそう。花まるでの一番の思い出は、夜に電話がかかってきて『今夜はみんなで星を観るので遅くなります』と言われたことだそうです」となるほど、お母さんにとっては記憶に残る電話だったのでしょね。

私にとっては、もうそれは思い出だらけです。頭は良いけれど少し人にキツく当たる面もあったのに、お父さんとの毎朝のマラソンでコンプレックスだった運動に自信を持ち、心身ともに健やかで見事な育ちをした子。「スーパー算数」も、この子や同

新刊情報

『マンガでわかる! 10才までに覚えたい人体のふしぎ235』

高濱 正伸, 田中 利明 監修/坂井 建雄 医学監修 (永岡書店)



「マンガでわかる! 10才までに! シリーズに、「人体のふしぎ」が登場! 笑いながら人体のナゾがわかり、知識が身につきます。小学校の理科で習う「消化」「栄養」「内臓」「骨と筋肉」「脳」「血液・血管」「髪」「呼吸」「内臓」「免疫」「心と体」「遺伝子」「アレルギー」など、いま重要なテーマをピックアップ! 理科が苦手な子、学び始めの子、人体のふしぎの秘密を知りたい子に最適な超入門教材です。

『イクメンの罠』

榎本 博明 著 (新潮社)



本書は、国も推し進めるイクメンムーブメントの落とし穴を照射する。包み込み守る母性に対し、ならぬものはならぬと壁として立ち上がり、子を鍛える父性機能の弱体化が、大問題であることを提示している。一時期は、その言葉を口にしていると善い人になれたような錯覚すらあったが、筆者はそのブーム性に警鐘を鳴らす。父親とは「文化的な存在」という。文化の変容激しき現代では、理想の父のありようは、揺さぶられ続ける。今後「父親論」を語るとき、欠かせない一冊となるであろう。

高濱の本棚

高濱さんの講演会に同行したある寒い日、間違えて「冷たい」お茶を買ってお渡しした私に「走ってきたからちょうど冷たいものが飲みたかったんだよね〜」と高濱さん。電車から降りたばかりで高濱さんはまったく走っていないかったことをわかっていたからこそ、私の心が温かくポカポカしたことを覚えています。一小林駿平(スティック)

級生と作り出した授業だったし、夏期講習では毎日毎日昼には公園や神社で遊んだものです。お父さんは、子どもとの釣り遠足にも参加して協力して下さるほど娘の子育てに一生懸命な方でもありました。私の結婚式にもこの学年の子たちがみんな来て、体操を披露してくれました。本人の結婚式では、最初の入場の時点で、エスコートするお父さんを見て「このお父さんあつての輝きいまだよな」と涙がとまらなかったことも鮮明な記憶です。

その子のお母さんが、30年経ってもこうやって若いお母さんに花まるを推薦してくださっていることに感動しました。実は、その同じ第一号教室のもう一人の会員（釣りや遠足など何回も行った男の子）が、父親となつてわが子を預けてくれることになったというニュースも入りました。私自身は、ただただ必死の日々でもありましたが、「たくさんかわいがった分、伝わっていないだな、返ってくるんだな」と嬉しくなりましたし、30年経って合格の通知表をもたらったような、しみじみとした感慨が湧いてきました。

それにしても、実績のないなかで私の夢や目標を聞くだけで開催を認めてくださった幼稚園の園長先生方、わが子を預けよう

我々のわがままな（たとえば「秘密基地を作るのにちょうど良い森を探してほしいんです」というような）要望を聞いて、サマー

スクールや雪国スクールとともに創り上げてくださった宿の方々、実に多くのみなさまのご支援のおかげで、生存競争厳しい塾の世界で30年間なんとか生き残ることができました。本当に本当にありがとうございます。

今回、10周年や20周年でやったような、大きな記念イベントの開催も考えたのですが、巨大会場を一年前から押さえる必要などがあり、この一年のコロナの状況では先が読めず無理でした。いくつかできることを考えていますが、5年前に行つて大きな感謝の声をいただいた「講演会無料企画」が、やはり最も喜んでいただけるかなと、まず実施することになりました。会員が在籍する幼稚園・保育園・子ども園・小中学校やPTAの主催する講演会ならば、謝礼なしでお引き受けいたします。ご利用ください。

31年目。新しい年度が始まります。私自身が個人としてもそうですが、花まるグループ全体としても30年の分厚い経験が蓄積されています。子育てはそれぞれの年齢ごとに、心配事が湧いてくるもの。どんな子のどんな悩みでも大丈夫です。教室長を通じて、いつでもご相談ください。毎日が

幸せで、最高の子育ての一年間になりますように。

花まる学習会 高濱正伸



30年分の感謝をこめて、
花まるの子育て講演会を
講演依頼料 無料でお届けします

会員限定 花まる学習会 30周年感謝企画

<https://www.hanamargroup.jp/hanamaru/news/30thanniversary/>

※申込締切：5/31（水）19:00 まで

▶詳細は、特設サイトでご確認ください。



高濱 正伸 講演会

＼お父さんのための/
父親だからできること

日時 2023.5/21日 10:30 ~ 12:00

参加費 2,000円（税込）

定員 646名（抽選）

日時 5月8日（月）19:00 ※男性限定の講演会です。

お申し込みはこちら▶

<https://www.hanamargroup.jp/hanamaru/news/koenkai/detail/620/>



会場 赤羽会館



花まるだより 2023年4月号 （令和5年4月15日発行）

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱 正伸
企画・編集 久慈 菜津紀
編集 金井 彩・清田 奈南
坂田 翔・高橋 奈穂
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子
印刷 アークランド株式会社



サマースクールのクワガタ体操と、高濱さんの「20代をどう生きるか」の講演を聞いて「これまで幅広く振り切れる人ってすごい！」と思って入社しました。いい意味で「いつでも大穴狙いのギャングラー」が本質の人だと思っています。還暦を過ぎてTEDに挑戦する社長、しびれます。—川波朋子（ばんちょう）





この夏の
タカラモノを探して
大冒険へ!!



あくわくして
もう止まらない!

さあ
新しいキミに
出逢おう!
Let It Be!

サマースクール、はじまります!



初めて乗り越えた世界は
キミだけのタカラモノ



花まるSTORY

▶ 花まるリストバンド

花まる学習会の野外体験では毎年、リストバンドを制作しています。

参加する子どもたちが笑顔で無事に帰れるように。その願いを込めて、リーダーたちはお守りのように身につけています。



・ * ・ * ・ * ・ * ・

はじめりは、花まるの野外体験が初めて中止となった2011年。

「花まるとして、なにか力になれないか…」東日本大震災のあと、その一心で向かった現地の状況は想像をこえたものでした。

あのととき気仙沼で出会ったある方に、こんなふうに言われました。「復興はどこかで終わるものじゃない。続いていくんです」

その言葉を、想いを、何度でも思い出せるように。自分たちにできる支援を続けていこうと決めました。

あれから12年。いまでもリーダー研修で必ずこのリストバンドが生まれた経緯を伝えていきます。

・ * ・ * ・ * ・ * ・

今年のリストバンドに刻んだ言葉は、「Let It Be!」

子どもたちが、ありのままの自分で次の一歩を踏み出せるように。安心して挑戦できる機会になるように。私たちも全力で支えます。

野外体験部 箕浦 健治(ファイヤー)



みんなの参加を待っているよ!

花まるサマースクール2023

申込期間

4/25(火)～5/12(金) 19:00

※詳細はサマースクールパンフレットをご覧ください。



こうなったらいいな
こんなこともしてみたいな
そう思い描く未来は
自分を奮い立たせる勇気と
パワーになる



職人の無人島レポート 24

「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。港がある安芸津町に新たな拠点でもでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

新拠点②

般若、天狗、大黒天、隣を見れば水牛の角。気を抜けば博物館の体。いや、ここは広島だ。無人島の拠点。ハツと我に返ると倉庫のなかに立っていた。掃除中である。新しい事務局、といっても現状はまだ年季の入った空き家に過ぎない。母屋のあちこちに残された大量の家財をまずどうにかしなければ、まともに仕事もできない状況なのである。ということで、物という物をひとまず隣にある大きな倉庫に移す作業をしていた。

それにしても、人の住まなくなった家はこうも廃れるものなのかと思う。床は見るからに汚れていて埃が積もり、初めは靴を脱いで上がるべきかどうかさえ迷うくらいだった（スリッパはこういうときのためにある）。家のなかには脈絡のない調度品が多数残されたままで、1階も2階も雑然としている。食器が満載された茶箆や、服が入ったままのクロゼット、積み上げられた文庫本、アナログレコードの山、瀬戸内寂聴のあれこれ、抜けのある工具セット、小判のレプリカ、大阪城のペナント、請求書の束、2周まわってトレンドイナボスター、もはや何年物かわからない梅干しや味噌、酒の類、洗面台に残されていた古い洗剤

の包装に触れば、音もなく崩れてそのままだ時間の一部になる。とにかく掃除だ。徹底的に、掃除だ。

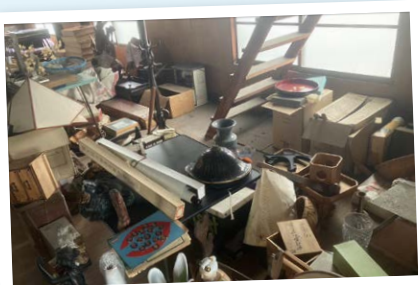
トヨタ曰く、整理とは不要なものを捨てること也。こんまり曰く、ときめかないものは手放すべし。私曰く、どうでもいいから倉庫へ移動だ。要不要はあとで決める。いま必要なのは仕事場なのだから。毎日、午前中いっぱい母屋の掃除にあてると決め、あらゆるものを倉庫へ運び続けた。一つの部屋から物を出し切ると、掃除機をかけて濡れ拭きをする。環状7号線の中央分離帯にあるボールを拭けば、これくらい黒くなるのかもしれない。しかしこれは貴だ。たぶん。

毎日まいにち、運んでは拭く。少しづつ使える部屋が増えるにつれ、我々3人の仕事部屋や備品の保管場所も広がっていった。そしてそれが楽しくなっていく。ところがあるとき、憑りつかれたように掃除をしていたら、会社の個人面談をすっぽかして叱られた（携帯に溜まった着信履歴というものは、いつ見ても恐ろしいものだ。子どもたちのなかには、大人になると叱られなくなると思っている人がいるかもしれないが、それは単に自分を叱る人がいなくなるからであって、必ずしも叱られるようなことをしなくなる

ということではない。だから大人になったら、自分で自分を叱るようにならないといけない。でないとメシが食えなくなる。みたいなことを考えていたらまた時間が過ぎていた。いけねえ、会議の時間だ。

(つづく)

花まる学習会 橋本一馬



倉庫に運ばれた大量の物たち。
なかには価値があるモノも…?

花まる無人島公式
LINE アカウント
無人島企画や最近の
様子を配信中!



ぜひ登録してね!

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



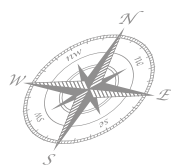
職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のモデルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、ブッシュクラフトアドバイザーなど、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。2022年から広島に移住し、無人島開拓に携わっている。ソロキャンプが趣味。



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第20弾は、高濱が甲子園出場のを託した、伝説の卒業生にインタビュー！

ようこそ先輩!!



よこやま こういち
横山 公一さん

【花まる学習会】浦和つくし幼稚園教室（小1～6）
*担当教室長：高濱正伸
【スクールFC】南浦和校（中1～3）
【進路】公立中学校→浦和学院高等学校→国士館大学（体育学部）
【現在】小学校教諭

とその大切さに気づけるんだよね。

横 高濱先生に「もっと積極的になれよ」「自分を出せよ」と言っていたいたこと

も印象深いです。

高 あの頃の公一はおとなしかったから。

横 自分の意見を発信することの大切さを

学びました。いまでは「超積極的に！」迷っ

たらGOだよ！」をクラスの合言葉にして、

昔の私のようになかなか自分を出せない子

どもたちを応援しています。

高 立派な先生になっちゃって。

■野球に没頭した学生時代

高 公一といえば、野球。小学生のときに

キャッチボールをして公一の球の速さに驚

いたんだよ。中学生のときには試合を観に

行ったなあ。大会ではどこまで進んだの？

横 小・中学校時代は選抜選手に選んでい

ただき、市内で優勝したり、県大会に出場

したりしました。

高 キャッチボールをしたあの日にすごい

ピッチャーになると確信して「いつか甲子

園に行ったら、砂を持ってこいよ」と言っ

たら、本当に持って来たからすごいよね。

俺も甲子園に出たかったから、嬉しさもひ

としおで。

年生でベンチ入りして2回戦まで進まし

た。2回戦の相手は横浜高校で、筒香嘉智

選手にホームランを打たれて…。

高 あの筒香選手と戦ったのか！

横 筒香選手の打球は速すぎて、ピンポン

玉のようでした（笑）

高 すごいなあ。その後も野球を続けた

の？

横 高校時代ほどストイックではないです

が、大学でもピッチャーを続けました。い

まは中学校の教育委員会の先生方に声をか

けていただいて、引退した中学3年生に硬

式野球を教えたりもしています。

高 弟子たちがいるのか。

横 小学校教諭として働き始めた年の教え

子に、野球を頑張りたいと浦和学院を目指

していた子がいるのですが、先日その子が

二十歳になるからと会いに来て、いまでも野

球を頑張っていることを伝えてくれてとて

も嬉しかったです。

高 俺にとっても、孫弟子みたいで嬉しい

よ。そういうつながりもいいよね。

横 教員になってよかったと、しみじみ感

じます。去年の8月9日、野球の日に息子

が生まれたので、さらに楽しみが増えまし

た。

高 本当に？ 夢をつなぐ完璧な物語がで

きあがっているじゃないか！

横 運命だと思っています。マイホームに

は、原寸大のブルペンを作りました（笑）

高 気合十分だな（笑）公一の子が甲子園

に行ったら、絶対に応援に行くから！

横 ぜひ、お願いします！

■強さの秘訣

高 公一にとって、お母さんはどんな人で

すか？

横 “あまあまなお母ちゃん”ですね。

高 溺愛されていたもんなあ。困難があつ

ても乗り越えられる自己肯定感の源は、こ

こにあったのか。愛情の土台と、公一の場合

は野球という、心からやりたいと思える

人生の軸は、社会で活躍する人のキーワー

ドだよ。いや、これからも楽しみだ。応

援しています！

横 ありがとうございます！

これまでの卒業生物語はこちら！





こん げ っ

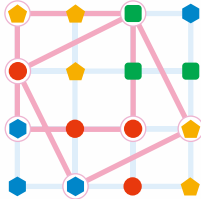
今月のレインボータイム

出題：坂田 翔 (花まる学習会)

【4色ましかくパズル】

あか あお きいろ みどり せん ましかく
●●●●の4つを線でつないで、□をつくろう。

れい

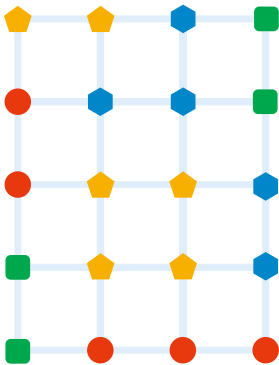


ひたひた ま
左の図では、2つの「ましかく」が作れました。
「ましかく」になっていれば、
4つの点をななめにつないでもかまいません。

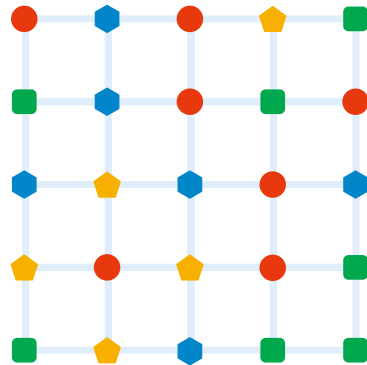
かいとう
解答はこちら！



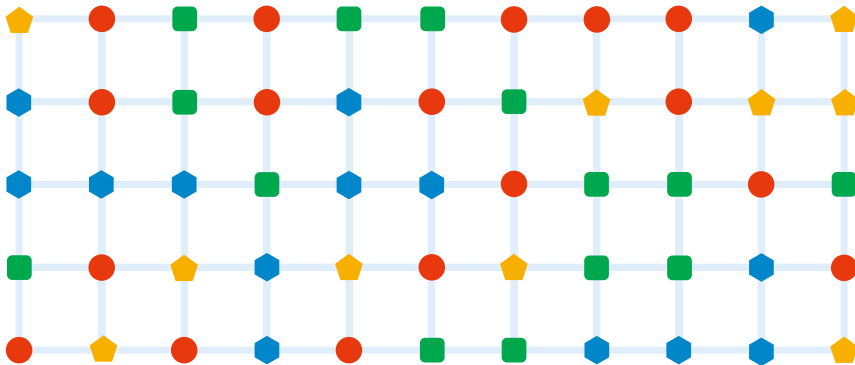
レベル 10 ましかく1つ



レベル 50 ましかく2つ



レベル 99 ましかく4つ





花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

23

勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小3・小1・1歳の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんずう初級』（学研プラス）ほか



子育ては育児書よりも“奇”なり

「事実は小説よりも奇なり」といいますが、転じて、「子育ては育児書よりも奇なり」と思うことはないですか？ 三人の子を育てながら、私は日々、多かれ少なかれそんなことを感じています。

たとえば、花まる学習会代表の高濱の著書に【子どもの感性を育てましょう／美しいものを見たらそれを親が言葉にして伝えましょう】という一説があり、「よし！実践！」と思った私は「今日は月がきれいだね」と、当時4歳の長男に伝えたとこころ、「そうだね、桂男（かつらおとこ）がいそうだね」という返答。（なんだそれは!?）と驚愕して詳しく聞くと、『ゲゲゲの鬼太郎』に出てくる、月に住んでいるといわれる妖怪でした。（きれいだねではなく、そこにとぶか！）と驚きました。

あさがおとサボテンの一日一ページの宿題がなかなか定着しない長女。【宿題はやるもの。親はがんばる姿勢が大事】という方針に共感して、実践しようとするも、あの手この手で反発して親のエネルギーが削られていく毎日……。ついには、長女はサボテンをいかに早く終わらせるかということに熱意を注ぎはじめて、最初にすべての計算の答えの10の位を書いてしまふ（※そのときの単元は、たいてい10の位が「1」だった）に1の位を書いていく、という方法を生み出してホクホクはじめました。また、あさがおに関しでは、「名文を味わって書きましよう」という目的もある教材。しかし、そんなものは意に解せず、ある日、「わたしが詩を作るなら『笑』というタイトルで、ずっと

わっはっは
わっはっは
わっはっは
という詩にする。そしたら、これからあさがおをする子たち、楽しんで」と言い出しました……。

別の人間なので当たり前ではあるのですが、親の思い通りになってまったくいいくない子育てです。

ただ、この宿題のやりとりを経て、発見もありました。

一日一ページの宿題を素直にこつこつすることと大切。できていないことで、この子はたぶんこの先、学習量が必要になったとき壁にぶつかる。それは事実として親も知っておくし、子どもにも伝えておこう。一方で、効率的なやり方を考える、ユーモアで切り返す、そういった部分は、頭がぐるぐる回っているともいえる。言われたことをただやるだけの、思考停止の状態にはなっていない。特にユーモアの部分はこれから先の人生で生きてくる力だよ、とは認めてあげよう――

育児書や教育書などに書いてある通りに実践しようとしても、結果、うまくいかないことのほうが多くて、その都度、生の反応が返ってくる。そのときに、「でも、本にこう書いてあるからその通りにしなさい」と枠に当てはめすぎることはなくて、予想外のその子のいいところが見つかったら、そちらも認めてあげるぐらい柔軟でありたいなと親である自身のスタンスも考えさせられる事

例になりました。

一人ひとりの子どもたちの、それぞれがった彩りにあふれる毎日をのぞき見しつつ、時に寄り添い、サポートしてあげることを楽しむ一年にしていきたいと思います。そして、生の子どもの反応に困ったときは（困っていないときでも）、周囲の大人の目も借りながら。

ぜひ、日々のお子さまの様子を、花まるの教室長にお話ください。「うわ、それは、おもしろいですね。興味深いですね」と、育児書よりも奇なりの子育ての道を、花まるも、ともに歩んでいけたら嬉しいなと思っております。今年度もよろしくお願いたします。

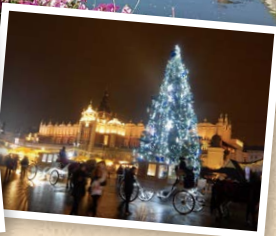
花まる学習会 勝谷里美



『うね、どれがいい？』

ジョン・パーニンガム さく
まつかわ まゆみ やく
(評論社)

「ユーモア」というキーワードからのご紹介です。花まる学習会の低学年には「たこマン」という発想力、ユーモアを鍛える対話型の教材がありますが、この本も対話を楽しめる本です。「うね、どれがいい？」…迷子になるなら、霧の中？海の上？森の中？それとも、ひとこみ？ そういったユーモラスな問いかけが続いていきます。「えー、こんなのいやだ！」「だって、こうじゃん！」といった、子どもとの対話が盛り上がる一冊です。



1 「本×？」で 多彩な本をご紹介します！

全10回の「本×？」をテーマに、さまざまな本や、本とつながりのある世界や分野の魅力もご紹介！読書が何倍にも「うれしくて楽しくなっちゃう」イベントです。



3 充実した ゲストコーナー！



素敵なゲストによる「お楽しみコーナー」も充実。
理科実験や楽器演奏も…！

もっと花まる！ 読書の世界へ ようこそ



親子で楽しめる！
平沼純の読書講座
「旅する読書
～本から始まる素敵な世界～」

2023年はさらに
パワーアップ！

2 心躍る 《物語の風景》の数々！

毎回異なる切り口で本を紹介しながら、物語の舞台となった日本・世界の風景をスライドで上映します。1枚の写真から、物語の新たな扉が開くかも？



Photo by 平沼純

Recommend

「あの本がこんな世界ともつながっていたの？」
「こんな本の楽しみ方、知らなかった！」
「もっともっと、自分だけの本の楽しみ方を見つけたい！」
特別な読書の旅を、ぜひご期待ください！

「旅する読書 ～本から始まる素敵な世界～」

▶▶▶ お申し込みはこちら

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2023/>



5月 本×生き物
～集まれ！この地球の素晴らしい仲間たち～

6月 本×世界遺産
～開催！プレゼンバトル『勝手にシン・世界遺産』～

7月 本×夏休み
～2023年夏、この一冊をあなたに～

9月 本×歴史
～会いに行こう、時の彼方の『ヒーロー』たちに～

…まだまだ続くよ！

LINEUP

以前、珍しく体調を崩されたとき、「なぜあんな病気になったのかわかった。あの頃は忙しくて授業の数を減らしていたからだ」と宣言されたことがありました。高濱さんのあの比喩なきエネルギーの秘訣を知れたと同時に、我々が「どれほど尊いものと日々向き合わせてもらっているのか」ということに思い至った瞬間でした。「何でもないようなバカ話」のなかで、不意に人生の真実を織り混ぜて直球を投げてくる…そんな人です。一橋口雅人（ハッスル）



2023年の春にこの一冊！



『**食卓のホネ探検**』
ゲッチョ先生のホネコレクション』
もりぐち みつる ぶん え
盛口満 文・絵
しょうじん やしんぶん ぶんしや
(少年写真新聞社)

魚の開きや鶏肉など、食卓にのぼる魚や肉の骨ってどんな形をしている？ つなぎ合わせるとどうなる？ 普段何気なく食べているものの骨を、明快なイラストで紹介した異色の科学絵本。身近なものを科学的に見る視点を楽しみながら養えます。怪獣に見えるクロダイの頭の骨など、意外性もたっぷり。食事で肉や魚が出たとき、家族の会話が弾むこと請け合いです。



『**さよなら、おばけ団地**』
ふじしげ ひかる 作
はまの ふみこ え
浜野史子 画
ふくいんかんしやてん
(福音館書店)

取り壊しが決まった桜が谷団地。そこで昔から語り継がれている、奇妙な話の数々。消えた子どもたちの幽霊、屋上で伸びる無数の白い手、まぼろしの4号棟……。でもそこに秘められているのは、かつてその団地にいた人たちの抱いていたさまざまな思い。典型的な恐怖譚かと思いきや、失われゆくものへの郷愁が感じられる、読後感さわやかな一冊。桜やタンポポなど、いくつかのシーンで描かれる春の風景も印象的です。



『**春ものがたり**』
の が み あやら へん
野上 暁 編
ひ び の み こ さしえ
日比野光希子 挿絵
(偕成社)

川上弘美、斉藤洋、柏葉幸子などの作家陣が書いた短編のほか、春を描いた谷川俊太郎の詩や短歌の数々計15編が収録される珠玉の短編集。心温まる話やちょっと不思議な話、ミステリアスな話など、どこを読んでもハズレなし。中学年以上の子どもへの読み聞かせなどにもうってつけです。



『**フィボナッチ**』
し ぜん なか かず み ひと
自然の中にかくれた数を見つけた人』
ジョセフ・ダグニーズ 文
ジョン・オブライエン 絵
渋谷弘子 訳
(さ・え・ら書房)

史上最も優れた数学者の一人とされる、レオナルド・フィボナッチの半生を描いた伝記絵本。自然界のあらゆる場所に隠されているフィボナッチ数が明かされるページでは、鳥肌が立つほどの感動が味わえます。「のうなし」と呼ばれても、自分の関心ごとを追突し続けたフィボナッチの生き方も胸に響きます。各ページに描かれているフィボナッチ数を表す自然物を探すのも一興。草花が咲き誇る春、この本を片手に身のまわりの自然を見てみてはいかがでしょうか。



『**ぼくらの地図旅行**』
な ず まさもと ぶん
那須正幹 ぶん
にしむら しげお
西村繁男 え
(福音館書店)

5年生のシンちゃんとタモちゃんは、地図と方位磁針を使って岬の灯台まで「地図旅行」をすることに。マンガのようなコマ割り進むストーリーに、実際の地図も記されていて非常に読みやすい。とにかく各ページに描かれている風景が緻密で、人々の暮らしの多様性にも気づかされます。地図を片手に旅に出てみたいくなるはず。

4月 〈第1回〉「本×冒険 ～陽気に一歩ふみ出せば～」

読書とは、心ひとつでふわりと本の世界に入りこみ、さまざまな体験をしてまた帰ってくる「行きて帰るし」旅のようなもの。時空をこえて、ジャンルをこえて、分野をこえて……。本を読むことで可能になるさまざまな心躍る冒険のほか、スクールF Cの授業「作家の時間」で子どもたちが創った物語も多数紹介します！

4/20 (木)・4/22 (土) 10:30～12:00
参加費 一家族 500 円 (税込)
申込締切 開催前日の 19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2023/>

全国から参加可能！



“とある花まるの先生が、わが子の中学受験に直面した”

その2

夏、足りないピースは埋められたか…!?

(5年生9月)

「えっ、毎日こんなに夏期講習があるの!」
「そうだよ。でも、お母さんは5年生のとき、
もっと通っていた覚えがあるよ」

「うっそ、せっかくの夏休みが…」

「何を言っているの、受験生! 夏の間に4年生でやってなかった国語と社会の問題集もやるよ!」

「ムーリー!」

「無理じゃない! (クワツ)」

…私からすると、自分で受験すると決めたくない、5年の夏なのだから当たり前、と思うが、マイペース長男のSは、受験生でも夏休みなのだから、けっこう遊べると思っていたらしい。甘い、砂糖のように甘い…! 大リーグボール養成ギブスをはめるか!? とつつこみたくなるが、ここでそういえば、と思いつく。中学受験を経験した私だが、通っていた塾の先生に、
「あなたは本番1か月前にやっと本気を出したもののね」

と受験後に言われた黒歴史を。私自身もその当時、相当なぼんやり受験生だったのだ。結局は似た者親子か、と少し口調を柔らかくする私。

確かに、よつぽと上位層の負けず嫌いの子か、夢や目標ががちり固まっている子か、いままでに似たような努力経験がある子でない限り、小学生の子どもが、はじめての受験に到達点の見通しを立てて、現状に危機感を抱きつつ、自ら足りない領域を自覚してコツコツと取り組む

なんて…まあおおかたは夢物語である。

だが、ひたすらブーブー文句を言い続ける長男Sと話していると、イライラが込み上げてくる。だんだん口調が尖ってくる私を横目で見て、夫がナイスフォロー。

「Sは4年生のときは算数と理科だけで、国語と社会は塾に通っていないかった。夏の間に遅れを取り戻さないととなると、いつやるんだ? 学校がある期間に自分で計画してできるのか? お母さんはSの目標に協力してくれているんだぞ」

教室で子どもたちに「ムーリー」といくら言われても、そつだよ、と受容して対話できるが、日々一緒にいるわが子だという感情が波立って、かわいさ余って憎さ100倍状態になることがある。そつそう、こつやって片方がキーツとなりそうときは、冷静なほうでフォローしてくれると、だいぶ助かるんだよねと久しぶりに夫に感謝する。いままでの子育てのなかで、「両親が二人して子どもを責めない・子どもの逃げ場がまったくない状態にしない」を、夫婦の共通見解にしていってよかった…と思う今日この頃。

さて、Sの社会の力を強化するために、夏の間の週末は、社会カルタ大会(歴史人物や都道府県のカルタ)を家族で開催した。はじめは私が優位だったのに、だんだんと夫とSの実力が

家族構成

長男 S



4歳から生粋の花まるっ子として過ごす。今年の夏(5年生)のサマースクールでは「火おこしの国」に参加。「〇〇中学合格」と願いを焚火にくべたらしいが、なんと「合格」の「格」を間違えて書いたという…まさか、受からないフラグ!? (涙)

夫



地方の公立中高出身。息子たちの成長が喜びで、Sが持ち帰るテストを解いては「まだ俺もいける」「直観では、もう敵わなくなってきたよ」と一喜一憂する子煩悩パパ。

私



都内の私立中高出身。過去にはスクールFCで小中学生の英語も教えていた、花まるの先生。子どもが生まれてからは事務方まわりの仕事を多くしている。そろそろアンガーマネジメントを学ぼうかと思っている。

次男 Y



保育園児。外面がよい甘えん坊。最近のはやりは「おしり」。毎日100回以上言っは、このうえなく幸せそうに笑っている(50回を超えると私は遠い目)。

花まる学習会 川波 朋子

追いついてきて、接戦に。そして、夏のサマチャレ(テーマ別集中夏期講習)で都道府県カルタが扱われてからは、ついにSの圧勝という展開に…。やっばり、場の力学というか、集団授業の切磋琢磨の雰囲気のおかげで生まれる子ども集中力には敵わないなと悔しく思いつつ、問題集もなんとか夏休み最終日に終え、あつという間に5年生の夏は過ぎていった。果たしてこの夏の努力は、秋からはじまる外部模試の結果に反映されるのか。ドキドキするのは親ばかり。

講演会やイベント・パーティの企画を報告すると、高濱さんから返ってくる言葉は、「うーん、なんか違うんだよね」。考えにふける場面をたびたび見ます。高濱さんの根底にある判断基準は「おもしろいかどうか」。だから高濱さんのまわりには常におもしろい人が集まり、おもしろいことが起こり続けているんだと近くで感じています。そんなおもしろい花まるの船に乗って、私は最高にハッピーです。一石須孝志(ウェザー)

こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

45

させなくちゃ、
ではない声かけ

「本人が『こうしたい』(というイメージはある)けれどどっやったらいいかわからない」と言ってきたとき、いろいろと自分で試行錯誤してほしいと思うのですが、そのときの声かけはどうするのがいいのでしょうか。それとも、いまはまだこちらが『こうしてみたら?』と提案して、やり方の引き出しを増やしてあげたほうがいいのでしょうか?」今回は1年生のお母さんからこんな質問にお答えしてみよう。

「どうしたらいい?」と言われたとき、困りますよね。現場では、まずは「どうしたい?」どんなふうにイメージしているか詳細に聞かせて?」一緒に考えるからね」と安心させます。不安や焦りからは、いいアイデアは生まれにくいからです。そして、このとき、本人にインタビュー形式で聞いていくことで言語化してもらう、ことが力ギになります。「なるほど、もう少し具体的に教えてくれる?」一緒に考えよう」「たとえば、どんなものを使ったらいいと思った?」子どもたちは、考えや頭のなかにあるイメージを、整理して、自分で話して伝えようとしているうちに、「あ、いいこと思いついた!」と、結果として自分自身で答えを見つけた!

ていくことがよくあります。

そんなとき、私たちの寄り添い方として大事なものは、「答えを自分で出してほしい」というような、こちら側の価値観を捨てさせること。本当に心から「いい案が浮かべばいいね。応援しているよ」という姿勢、とでもいいたほうがいいか。突き放すわけではなく、かといって大人である私があなただけの作品をつくるわけではない、「どうしたいのか聞きたいよ、あなたのイメージを共有したい、尊重しているよ」という気持ちです。上や前に立つのではなく、横に並んで、同じものを一緒に見ている感覚です。

そうすることで、大人が子どもの作品を奪ってしまふようなことにもならず、作者である子どもにとっても、「大人にやってもらおう、考えてもらえばいいや」と投げやりにもならず、対等な関係のまま、意見を共有することができると。結果、当初やりたいと思っていたものではない別の展開になったとしても、子どものなかに、納得感が生まれます。子どもたちが「発想の転換」を体感できる瞬間です。

他人のアイデアに「いいな」と感じ、ひらめく瞬間、昇華できる経験も大切です。だからこそ、「お母さん、いいこと思いついたよ!」というように、「こうしなさい」ではなく、「お母さんである私は、こんないいこと思いついたけど、どう?」というようなスタンスをとってみてください。それが難しいな、と感じるときは、「こうあってほしい」という理想や、「何かを(

できるようにさせなくちゃ」というようなプレッシャーが、ご自身のなかにあるのかもしれない、と自己対話するきっかけになるかもしれません。

表面的な「できる、できない」ではなく、もっと深いその子らしさ、感じ方、考え方など、目に見えない部分に注目できるはずです。

まとめ

- 1 提案してもいい:「お母さん、いいこと思いついたよ」
- 2 インタビュー形式で:言葉にすると、自分で思いつくことがある
- 3 そのスタンス:こうあってほしい、という価値観の押しつけをしない

インタビュー形式で言語化しながらイメージを整理することは、作品づくりだけでなく日頃の生活のなかでも使えるかもしれませんね。

今年度も、たくさん子どもたちとアートを通した教育現場で見えてきたことを、保護者のみなさまとも共有していければと思います。

Rin (井岡由美)

Rinせんせいの アトリエラヂオ Season2

山の視点で
子育てを考える



今回の話をより詳しく聴きたい方は、毎週月曜配信アトリエラヂオ#116「させなくちゃ、ではない声かけ」——自分で試行錯誤できるように!でもお聞きいただけます。



5/13(土) ① 10:30 ~ 12:00 ② 14:30 ~ 16:00

<六本木Kant. コラボWS> お花紙ART

会場 六本木Kant. (東京都港区六本木4丁目8-5)
参加費 3500円(税込)
対象 年長~中学生
定員 各回18名

5/14(日) 10:30 ~ 12:00 うごく絵の具deカード

参加費 対面2,800円/オンライン3,100円(税込・材料郵送費込)
対象 年長~中学生
定員 対面(お茶の水花まるラウンジにて)20名/オンライン8名
(ハイブリッド開催)

申込期間 4/7(金) ~ 4/26(水) 19:00

- <六本木Kant. コラボWS> お花紙ART
 - うごく絵の具deカード
- お申し込みはこちら!



<https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>

私が入社間もない頃、高濱さんの講演会同行にて、迷って某有名人のご自宅に案内してしまったことがありました。それ以降、同行のときは毎回ドキドキしているのですが、先日は何やら思い出した顔をして「今日、加奈が同行者でよかったよ!」とっていただきました!その褒め言葉にぐっときました!—松浦加奈(おゆる)



今年も高濱が紹介します！

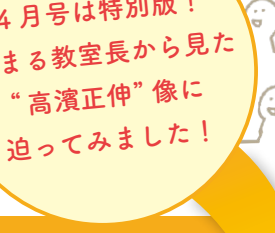
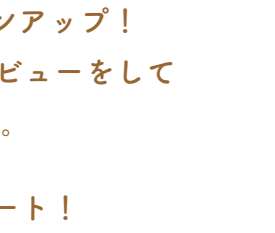
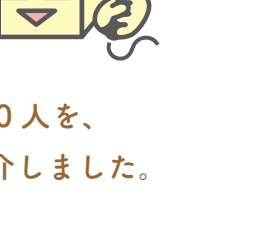
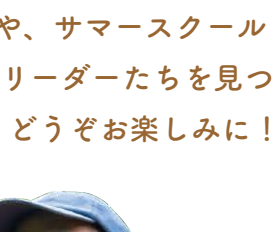
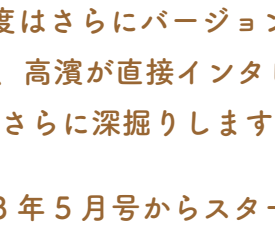
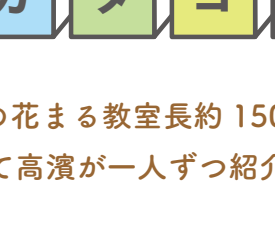
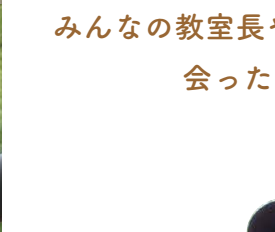
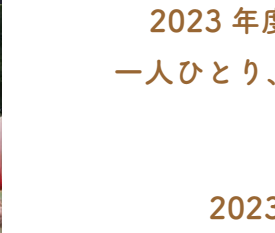
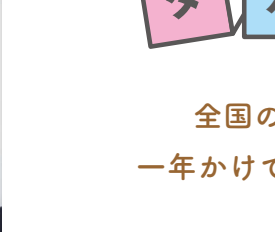
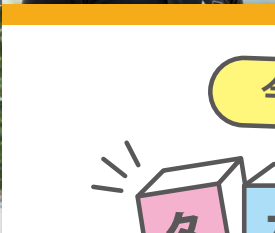


全国の花まる教室長約 150 人を、
一年かけて高濱が一人ずつ紹介しました。

2023 年度はさらにバージョンアップ！
一人ひとり、高濱が直接インタビューをして
さらに深掘りします。

2023 年 5 月号からスタート！
みんなの教室長や、サマースクール・雪国スクールで
会ったリーダーたちを見つけてね。
どうぞお楽しみに！

4 月号は特別版！
花まる教室長から見た
“高濱正伸” 像に
迫ってみました！



積みあがった成功体験

4月頭、「お久しぶりです」というタイプの、一通のメールが届きました。「お元気ですか？新年度の準備で忙しいですよね。そんななか、すみません。私もついに高校一年生になりました！いまは友達作りにワクワクしています。今年はサマースクールやるかなあ。開催したら絶対リリーダーをやりたいです！面接も受けます！」と力強いメッセージをくれたのは、二年生から卒業までを担当した教え子、Yちゃんでした。

すぐに、電話をしました。入学したばかりの高校では、コロナウイルスの影響で、週4日のオンライン授業が行われており、友達ともまともに会えていないとのことでした。こうした状況にもかかわらず、「大丈夫！友達はあるという間にできるから！」バスケットボール部に入ろうと思っ「て！」とこれから始まる高校生活に対してワクワクしている彼女を、たくましいなと思いました。そして、本格的に「獣医」の道を歩みたい、と自分の夢を語ってくれました。

自分の道を見つめ、歩みはじめた彼女ですが、実は、友達関係に苦労していた過去があります。花まるに通いはじめた頃は、身体もか細く、絵本から飛び出

してきたような優しい雰囲気を持った少女でした。夏休みには、学校で飼っているウサギや亀、虫に餌をあげに行き、学校が完全休校になるとときには、自宅で引き取って世話をするほど、生き物が大好きな優しい長女でした。

ある日、お母さんが深刻そうな顔で「登校拒否になりました」とご相談くださいました。きっかけは、小学校で席替えをし、隣になった男の子にからかわれた、ということ。話を聞き進めると、その話に違和感を持ったのです。「あれ、お母さん、その男の子、Yちゃんのことが好きなのでは？」と聞いてみました。「私もそうだと思うのですよね。相手が言った冗談も真に受けすぎる。感受性が強いのだと思うけど…。初めてのことに弱いんです」と悩んでいらっしやいました。

「これからYが生きていく人生には、いろいろな人がいるし、葛藤がでてくるので、ちょっとやそつとのことでは揺るがない強いメンタルを育ててあげたい」というお母さんと、作戦を立てることにしました。それが「サマースクール」です。

「生き物好き」という点から、「花と虫

花まるコラム

2023年4月

の国」という、当時あったコース（初めての子にオスメのコース）に申し込んでいただき、「花まるに通う子は、みんな参加するものだよ」と伝えていただきました。私とお母さんに説得されたYちゃんは、日程が近づくにつれて「もう行くしかないんだな」と覚悟を決め、参加しました。

サマースクール後、授業で顔を合わすと、「むっちゃくちゃ楽しかったよ！先生！」とこれまで見たことのないニコニコの笑顔で、思い出を次から次へと伝えてくれました。その後は、からかわれても冗談で返すという处世術を知り、自信を得て、花まる野外体験イベントの常連となりました。たくさんの仲間もできました。

数年後、私がスタッフとしてYちゃんが宿泊する宿の担当になる機会がありました。Yちゃんが小学四年生のときでした。初めての

参加で目に涙をなじませている子に、変顔で緊張をほぐしてあげたり、冗談を言ったり、手を握ってあげたり。チームのドメーカとして、しかける側にまわるYちゃんの姿がありました。後日、なぜあんな形で小さな子とかかわったのか、と尋ねてみると、自分も同じようにしてもらっ

た、とのこと。

また、数々の野外体験を経た彼女に相談したことがありました。「サマースクールに行きたくないっていう子が増えているんだよね」と。「もったいない！私なんて、どうして小一から花まるに入らなかったんだらうっていまだに後悔しているの」という答えが返ってきました。後日、Tくんという男の子とともにYちゃんから「初めての子たちの心の扉を開けてあげたい」と申し出があり、一緒に「初めてサマー説明会」というイベントを立ち上げたこともあります。このイベントの成功も、彼女を大きく変えました。

少しの勇気が世界を大きく広げていくきっかけとなるサマースクール。今年もまた、子どもたちのどんなドラマが繰り広げられるのか楽しみます。

花まる学習会 館岡聡美



はな きょうしつちょう しょうかい
花まるの教室長を紹介します！

花まるファミリー

FC …スクールFC

🎵 …アノネ音楽教室

アルゴ …アルゴクラブ

🌐 …オンライン

🌳 …無人島

Flos …フロス

🍷 …みんなビレッジ

きょうしつちょう じゃんばん しょうかい たの
みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！



いこま はるか
生駒 春佳

東京西

埼玉県



いだ ななせ
井田 七星

神奈川南

アルゴ 神奈川県



うえだ まさや
植田 雅也

東京西

🍷 神奈川県



すずき やよい
鈴木 弥生

千葉

千葉県



つつい かな
筒井 佳菜

千葉

秋田県



なまい ちま
生井 ちま

茨城

栃木県



のだ いつき
野田 一樹

関西

大阪府



ひろき さやか
廣木 冴香

千葉

🎵

千葉県



ほりえ けんたろう
堀江 健太郎

埼玉

アルゴ

宮城県



みずたに まな
水谷 真奈

神奈川北

神奈川県



たかはま まさのぶ
高濱 正伸

〇〇〇

熊本県

リーダーネーム

名前

所属

出身地

ゆまぐに へ
サマースクールや雪国スクールで会おうね！

がつ たんじょうか
4月の誕生花は さくら